



▲動画配信が見られます

議員のつぶやき

稀少生物を保護育成する施策が町に必要です



たかはし あきら
高橋 輝

自然・環境・共生のまちについて

質問 ナスヒオウギアヤメ保護へ補助金は

町 ▶ 関係課と協議する

問 特定外来生物のアレチウリ、オオカワヂシヤの対策は。

答〔環境課長〕
生息状況を調査・把握し、必要な際は対策を講じる。

問 ^{※1}来年度、条件付特定外来生物に指定されるアメリカザリガニを有効利用するために、有機肥料として堆肥化する考えは。

答〔環境課長〕
有効な手段と理解している。対策が必要な際は視野に入れて考える。

問 要注意外来生物リストに掲載され、近年町内でも生息が目立ってきているセイタカアワダチソウの駆除活動を積極的に行う考えは。

※1…外来生物法の一部規制を適用除外とする特定外来生物（アカミミガメ、アメリカザリガニ）の通称。これらについては「飼養等の禁止」と「譲渡等の禁止」は適用されない。ただし、販売や頒布、野外への放出は禁止されている。

答〔環境課長〕
地域での駆除活動の実施について、広報紙、ホームページでの周知を図る。

問 ^{※2}池田地区のナスヒオウギアヤメ保護活動に補助金を支出する考えは。

答〔環境課長〕
要件や要綱を確認後、必要性や重要性を加味し、関係課と協議する。

問 環境学習の一環としてナスヒオウギアヤメの保護活動を行う考えは。

答〔学校教育課長〕
選択肢のひとつとして地元の学校に情報提供したい。

※2…那須町と那須塩原市の一部にだけ咲く絶滅危惧種。昭和37年に宮内庁職員が発見し、昭和天皇が研究し、名づけられた。

しごと・活力のまちについて

質問 牛乳を利用した「那須の食」開発は

町 ▶ 那須未来と共に検討したい

問 畜産業の副産物である堆肥の利用促進を図る考えは。

答〔農林振興課長〕
需要は高まっている。^{※3}耕畜連携、資源循環の取組みを実施していく。

問 水田を利用した園芸作物の推進を図る考えは。

答〔農林振興課長〕
品目、品種の選定等、関係機関と連携して支援をしたい。

※3…水田作などの耕種農家と乳牛や和牛などの畜産農家が、飼料生産や堆肥利用などで連携すること。

問 本年「那須町牛乳等消費拡大応援条例」が制定された。「那須の食」として、牛乳を多量に消費できるクリームシチューやグラタンといったメニューを開発する考えは。

答〔副町長〕
本町は酪農・畜産が伸びている。友愛の森のレストランも新しくなるので、そういった新商品の開発を(株)那須未来と提携し検討したい。

問 白河市等で設置されている空き店舗バンクを設置する考えは。

答〔観光商工課長〕
現在は設置する考えはないが、空き家バンクと空き店舗バンクを同じ仕組みで運用している那須烏山市等を参考に調査研究をする。